



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1738 回例会 (献血例会) 平成 25 年 3 月 11 日 (月) 海南商工会議所 4F 12:30~

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. 出席報告
会員総数 53名 出席者数 38名
出席率 71.70% 前回修正出席率 71.70%

4. 会長スピーチ 会長 花田 宗弘 君



今日は3月11日です、関東大震災が起きてから丁度2年が経ちます。大きな被害ではありましたが、被害者の努力と世界からの温かい援助により、徐々に立ち直ってきています、過去にも日本各地で何回か同じような災害がありましたが、時間が掛かりましたがほぼもと通りに、もっと立派に立ち直ってきました。しかし今回の災害は過去のものと違うのは、原発の災害が絡んでいることです。

今日はロータリーの友の読後感を発表する日です。丁度震災がらみの記事が載っていましたので感想を話させて頂きます。友2月号の縦書き最初のページに載っている「 Chernobyl Nuclear Power Plant Accident 」についてです。 Chernobyl に何度も出かけ、現地の病院で働いていた医師の話です。放射能の汚染というのはすぐに反応がでないので、大きく騒ぐ程のことではないのではないか、経済優先に考えると早く原発を再稼働した方が良いのではないかと考えている人が大勢います。しかしこの記事では Chernobyl 事故から 26 年経った今でも、周辺 30 km 以内には近寄れず、年が経つと共に子供たちに抵抗力の弱体化や甲状腺ガン等の影響が及んでいると云われています。日本では原発から常時排出される汚染物質の処理法も行き先もまだ決まっていないようですし、このままだと地球を汚染し続けることになる厄介なもののようにです。技術の進歩により近い将来解決策が見つかることを期待したいのですが、原発開発から 60 年

経った今でもまだ出来ていないところを見ると簡単ではないようです。この問題は日本だけが原発をなくしても、世界のどこかで事故が起きれば大気や海流に乗って全世界が汚染されると云うグローバルな問題をかかえています。この記事は原発をこのまま続けて良いものかどうか疑問を投げかけています。

5. 幹事報告 幹事 中西 秀文 君
○献血状況報告書
本年度は
受付者数16名 献血者13名 不採血者数 3名
昨年度は
受付者数5名 献血者4名 不採血者数 1名
本年度は献血者が多くて、赤十字血液センターの人も喜んでくれていました。

6. 雑誌委員会「ロータリーの友」読者感想発表 ○楠部 賢計君



2月号の田中作次 RI 会長の「奉仕を通じて平和を」について、世界平和フォーラム (ベルリン) で演説。我が地区の状況はひどい。ロータリークラブは 1905 年に世界初の奉仕クラブとして誕生し、1911 年に「超我的奉仕」が第一の標語となった。また、第二の標語は「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」です。

財団では「世界で良い事をしよう」とあります。
○深谷 政男君



2月号の友愛の広場に載っていた「金婚の旅」東京調布市の竹腰 昌明さんの記事が印象的です。豪華客船の旅は良いですね。結婚 50 年の金婚式を記念して、共に健康でありたいものです。

○小椋 孝一君



ロータリー アット ワークが良かったと思います。紀美野町でも高齢者でも楽しめるパークゴルフがあります。また、健康診断には 70 人が受診、体調管理に気をつけましょう。

○阪口 洋一君

P18 の世界理解月間 世界に目を向けるで、中国との領土問題と米山獎学生を読み、考えさせられました。

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花田 宗弘 幹事：中西 秀文 SAA：那須 正志

○谷脇 良樹君



P36の「ロータリー始まりの日」を読み、初心に帰ることが大切です。2640地区の現状は話し合いをもつべきです。和歌山を2641地区にする話も出ています。

7. 献血のようす



新入会員の
田中君と角谷君も献血



8. 閉会点鐘

次回例会

第1739回例会 25年3月18日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

新入会員卓話

角谷 太基君 田中 祥秀君



ニコニコ・BOX

- | | |
|---------|--|
| 宮田 敬之佑君 | 雑誌の読者感想文ありがとうございます。 |
| 吉田 昌生君 | 鈴木屋敷を理解してください。 |
| 小椋 孝一君 | 会長エレクト研修会を無事に終了しました。国木原ゴルフクラブの月例で優勝しました。 |
| 山東 剛一君 | 昨日、エレクトノミニーの会に出席しました。 |



国際ロータリー ニュース

英国の学友と米国の学友会が 財団の賞を受賞



2012-13年度ロータリー財団学友人道奉仕世界賞に、英国ノッティンガムの眼科医、ハーミンダー・シン・デュアさんが選ばされました。ノッティンガム大学クイーンズ・メディカル・センターの眼科で所長と教授を務め、これまでに英国、インド、米国で治療を行い、また世界各地の医師の研修にも尽力してきました。角膜疾患治療の権威として知られ、専門手術の執刀にもあたっています。インドに住んでいた頃、ロータリーや非政府組織を通じて数々の眼科診断を無料で提供し、白内障や緑内障を患う貧しい患者のために無料で手術を行いました。貧困の中で暮らしていた村人たちの生活は、目の手術によって大きく改善され、視力障害者の治療によって、子どもたちは学校にも通えるようになりました。私たちはその一部を助けることができるのです、デュアさんはGSEでの貴重な経験やキャリアへの影響を与えてくれたロータリー財団に深く感謝しています。人生を変え、今の私を形づくるきっかけとなったのは、まさに、GSEチームメンバーに選ばれたことで、生まれて初めて海外を訪れ、世界への視野が開けました。

2012-13年度ロータリー財団最優秀学友会賞には、第6560地区学友会(米国インディアナ州)が選ばされました。2007年に設立されたこの学友会は、毎年、同窓会を主催しているほか、ロータリーの地区大会と国際大会に出席し、現在のプログラム参加者のためのオリエンテーションにも協力しています。この学友会は、フィッシャーズ・ロータリークラブが始めた「Water Is Life」という水プロジェクトに参加し、募金活動に協力したほか、シェラレオネで80の井戸設立に貢献しました。また、ポリオ・プラスも支援しており、新メンバーのオリエンテーションで寄付を呼びかけています。クラブに所属する学友会会长のスザン・メスキスさんは、ロータリー財団のパッケージ・グランツを利用して4月にタンザニアを訪れ、職業研修を行うと同時にアガ・カーン大学の看護学部教員とともに看護学プログラムの改善にあたります。